

ハイリング工法®

HIRING® Construction Method

近年、インテリジェントビルに代表される設備機能の複雑化、また階高増、鋼材量の節約の要求に対し、従来はり下に設置していた設備用配管類等を直接はりに貫通させる有孔はりが多用されている（図1）。

この有孔はりは、はりウェブが一部欠損しているため、無孔はりよりも耐力・剛性が低下している。

図2に示すハイリング工法は、貫通孔部に補強材としてハイリング（図3）を用いることではりの耐力を確保し、建築物の安全性、施工性を向上させるものである。

1. 特長

建築基準法37条の国土交通大臣認定取得。（MSTL-0136）

（財）日本建築センター認定取得。

（BCJ評定-ST 0095-02）

はり端部塑性化領域も貫通孔設置が可能となる。

貫通孔径は、はり成の1/2以下まで可能。施工性の改善により、はりの加工工数低減が可能となり、コスト削減・工期短縮が見込める。

HIRING、ハイリング、ハイリング工法は当社の登録商標です。

（日立機材株式会社）

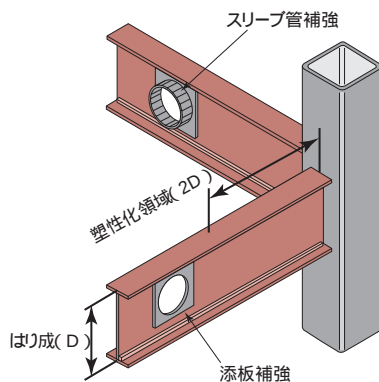


図1 従来工法

Fig. 1 Conventional construction method.

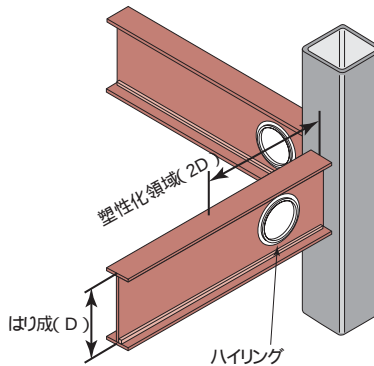


図2 ハイリング工法

Fig. 2 HIRING construction method.



図3 ハイリング

Fig. 3 HIRING.



図4 载荷試験

Fig. 4 Load test.

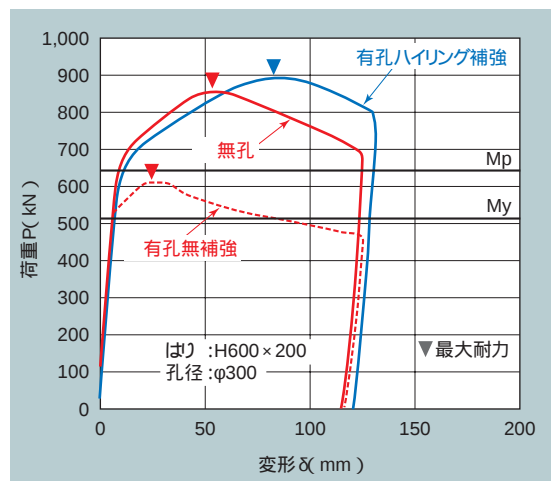


図5 荷重変形性能

Fig. 5 Load-deformation behavior.